



2025年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年2月12日

上場会社名 株式会社Veritas In Silico 上場取引所 東
コード番号 130A URL <https://www.veritasinsilico.com>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 健吾
問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 郷田 恒雄 TEL 03-6421-7537
定時株主総会開催予定日 2026年3月24日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2026年3月23日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け、個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期の業績 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	91	△53.2	△396	—	△390	—	△425	—
2024年12月期	194	△46.0	△212	—	△233	—	△236	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
2025年12月期	円 銭 △65.62	円 銭 —	% △21.3	% △18.9	% △435.3
2024年12月期	円 銭 △37.11	円 銭 —	% △12.5	% △12.0	% △109.4

(参考) 持分法投資損益 2025年12月期 一千万円 2024年12月期 一千万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、2024年12月期および2025年12月期は当期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
2025年12月期	百万円	1,884	百万円	1,783	%	円 銭 274.99
2024年12月期	2,248		2,209		94.6	340.61

(参考) 自己資本 2025年12月期 1,783百万円 2024年12月期 2,209百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2025年12月期	百万円 △299	百万円 451	百万円 —	百万円 325
2024年12月期	△217	△2,005	848	173

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2024年12月期	円 錢 —	円 錢 0.00	円 錢 —	円 錢 0.00	円 錢 0.00	百万円 —	% —	% —
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年12月期の業績予想 (2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	113	24.2	△569	—	△564	—	△567	—	円 錢 △87.44

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期	6,487,114株	2024年12月期	6,487,114株
② 期末自己株式数	2025年12月期	—株	2024年12月期	—株
③ 期中平均株式数	2025年12月期	6,487,114株	2024年12月期	6,371,138株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載した業績見通し等は、本資料公表日現在にて入手可能な情報をもとに、当社が合理的と判断した一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因の変化等によって予想数値とは大きく異なる可能性があることにご留意ください。

業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1 株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度（2025年1月1日～2025年12月31日）における世界経済は、米国政府による関税政策や世界各地での地政学リスクの高まりが不安材料となりつつも、生成AIの普及や今後の需要拡大期待からデータセンターなどAI関連投資の拡大が後押しする形となり、全体として拡大基調をたどりました。

米国では、AI関連投資が旺盛となり、底堅い個人消費と相まって拡大基調で推移しました。欧州では、主要国の政治不安や、ウクライナや中東地域をめぐる地政学的リスクがありながらも、雇用所得環境が堅調に推移し、消費者物価の安定と相まって堅調に推移しました。中国では、過剰生産解消に伴う投資抑制、政府による景気刺激策の効果一巡から、今後の先行きに不透明感が強まりました。

日本では、米国政府による関税政策による下押しがありつつも、原油などエネルギー価格の落ち着きにより企業収益が拡大基調となりました。また名目賃金の伸びが続くなか消費者物価の上昇が緩やかになり、実質賃金が前年比プラスに転じたことにより個人消費も旺盛となり、総じて堅調に推移しました。

当社の強みである独自のAI創薬プラットフォームibVIS®の基盤となる技術については、7月に米国で特許の効力が発生し、日本、欧州、米国の世界主要地域にて知的財産権を確保しました。またibVIS®に実装している複数の「ルールベースAI」に大幅な改良を加えるなど、より応用範囲が広く効果的なaiibVISへのバージョンアップを図りました。

「プラットフォーム事業」においては、機能強化を図った創薬プラットフォームibVIS®を活用し、医薬品市場で最大のセグメントである低分子医薬品の創出を東レ株式会社、塩野義製薬株式会社、ラクオリア創薬株式会社、武田薬品工業株式会社と共同創薬研究を各々進めるとともに、英国のLCC Therapeutics Ltdと締結した共同開発及び商業化契約にもとづく共同研究を進めました。さらに新たな契約の締結に向け、mRNA標的低分子医薬品およびmRNA標的核酸医薬品の創薬に関心を持つ国内外の製薬会社等に、当社のプラットフォーム技術の紹介等のアプローチを進めた結果、6月には三菱ガス化学株式会社と核酸医薬品の創出を目的とした共同研究契約を締結、12月にはスイスのSpiroChem AGとmRNA標的化合物の共同探索研究を実施することで合意に至りました。これらにより、複数の医薬品がなるべく早く市場に現れることが期待できます。

自社で独自に進めている、mRNAを標的とする新たな医薬品創出（パイプライン創出）の取り組みでは、当社は既にp53遺伝子のmRNAの量を低下させ、タンパク質の発現を抑制する核酸医薬品の一種であるアンチセンスオリゴヌクレオチド（ASO）を同定し、日本国内での特許取得とともに、さらに効率よく活性の高いASOを取得するための当社独自の研究活動も進めています。6月には最初の自社パイプラインとなる創薬研究の対象疾患を心臓血管手術後に惹起される虚血性の急性腎不全と定め、ASOによる疾患治療のプロジェクトを開始しました。このプロジェクトは順調に進捗し、12月にはその研究成果として得られたASOについて物質特許を出願しました。加えて、このプロジェクトに続く新たなASO創出を目的として、11月には国立大学法人島根大学と原発性肺移植片機能不全を抑制する核酸医薬品の研究開発を目的とした共同研究を開始しました。これらにより、治療方法のない疾患に対する医薬品の実現が期待できます。

当社では、ASOの自社創薬とあわせて、ASOが抱える課題の解決に向けて取り組みを進めました。11月にはデクセリアルズ株式会社と高速かつ正確性の高い分光学的RNA構造測定法の確立と社会実装を目的とする共同技術開発の実施について合意しました。12月には、当社が発案し研究を進めていたカテーテルを使用するドラッグデリバリーシステムについて、特許の効力が発生し、このシステムの名称を「Perfusio（パーフュージオ）」といいました。これにより、主作用が強く副作用のない医療の実現が期待できます。

これらの結果、糖事業年度における経営目標の主要な指標であるKPIの達成状況は、新規契約締結数については年間目標4社に対し3社と締結、自社パイプライン創出は特許出願1件で目標達成、事業収益は未達成の結果となりました。

当事業年度における事業収益等の経営指標は、共同創薬研究契約に基づき定期的に受け取る研究支援金や、サポート的に発生するマイルストーン収入等により事業収益は91,140千円（前事業年度比53.2%減）を計上しました。事業費用には研究開発費215,616千円を含む487,888千円を計上し、営業損失は396,7481千円（前事業年度は212,851千円の営業損失）となりました。営業外損益においては、定期預金等による受取利息5,729千円など営業外収益6,120千円が発生し、経常損失は390,628千円（前事業年度は233,562千円の経常損失）、特別損失においては、減損損失31,318千円を特別損失に計上し、当期純損失は425,671千円（前事業年度は236,442千円の当期純損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

財政状態の分析

(資産)

当事業年度末の総資産は、前事業年度末に比べて364,045千円（16.2%）減少し、1,884,912千円となりました。流動資産は主に現金及び預金の減少348,145千円により366,701千円（16.4%）減少し、1,865,371千円となりました。固定資産は、減損損失の計上及び減価償却による有形固定資産の減少14,115千円があったものの、差入保証金の増加が17,637千円があり、2,656千円（15.7%）増加し、19,541千円となりました。

(負債)

当事業年度末の負債は、前事業年度末に比べて61,625千円（156.4%）増加し、101,035千円となりました。これは主に流動負債の前受金の増加55,000千円等があったことによるものです。

(純資産)

当事業年度末の純資産は、前事業年度末に比べて425,671千円（19.3%）減少し、1,783,876千円となりました。これは2025年5月に実施した減資による資本金の減少67,175千円、その他資本剰余金の増加67,175千円並びに、利益剰余金の減少425,671千円があったことによるものです。

これらの結果、自己資本比率は、前事業年度末の98.2%から3.6ポイント下落し、94.6%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」と表記）の残高は、前事業年度末より151,854千円増加し325,213千円となりました。当事業年度におけるキャッシュ・フローの状況は、以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の営業活動により支出した資金は299,265千円となりました。これは主に税引前当期純損失421,946千円、前受金の増加55,000千円、減損損失31,318千円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の投資活動により獲得した資金は451,119千円となりました。これは定期預金の払戻による収入2,000,000千円、定期預金の預入による支出1,500,000千円、有形固定資産の取得による支出25,663千円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度は財務活動によるキャッシュ・フローはありませんでした。

(4) 今後の見通し

来期（2026年12月期）の事業収益については、製薬会社等と進めている共同創薬研究の実施に伴う研究支援金および、研究活動のマイルストーン達成に伴う収益等の計上により、当期（2025年12月期）より22百万円の増収（24.2%増）を見込んでおります。また事業費用については、自社パイプライン1本目の非臨床試験（動物実験）の実施および、自社パイプライン2本目創出に向けた研究開発の実施など先行投資的な費用の発生により、研究開発費は当期より164百万円増（76.4%増加）の380百万円、販売費及び一般管理費は、研究所の移転にかかる費用の発生等により当期より29百万円増（10.9%増加）の301百万円を見込んでおります。

これらを総合して来期の業績は、事業収益113百万円、営業損失569百万円、経常損失564百万円、当期純損失567百万円と予想しております。

上記の見通しは、本資料公表日現在にて入手可能な情報をもとに、当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因の変化等によって予想数値と大きく異なる可能性があることにご留意ください。なお今後、見通しの修正等が必要となる事象が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較性及び企業間の比較可能性を確保するため、当面は、会計基準につきましては、日本基準を適用する予定です。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当事業年度 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	2,173,358	1,825,213
売掛金	21,019	8,822
貯蔵品	13,350	11,734
前渡金	2,875	3,249
前払費用	1,662	3,380
その他	19,806	12,971
流动資産合計	2,232,073	1,865,371
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	14,115	0
有形固定資産合計	14,115	0
無形固定資産		
ソフトウエア	325	0
特許権	758	0
無形固定資産合計	1,084	0
投資その他の資産		
差入保証金	1,463	19,100
その他	222	440
投資その他の資産合計	1,685	19,541
固定資産合計	16,885	19,541
資産合計	2,248,958	1,884,912

	前事業年度 (2024年12月31日)	当事業年度 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
未払金	33,664	39,974
未払法人税等	2,850	2,850
前受金	-	55,000
その他	2,895	3,211
流動負債合計	<u>39,410</u>	<u>101,035</u>
負債合計	<u>39,410</u>	<u>101,035</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	77,175	10,000
資本剰余金		
資本準備金	1,800,174	1,800,174
その他資本剰余金	535,591	602,767
資本剰余金合計	<u>2,335,766</u>	<u>2,402,941</u>
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△203,393	△629,065
利益剰余金合計	<u>△203,393</u>	<u>△629,065</u>
株主資本合計	<u>2,209,548</u>	<u>1,783,876</u>
純資産合計	<u>2,209,548</u>	<u>1,783,876</u>
負債純資産合計	<u>2,248,958</u>	<u>1,884,912</u>

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
事業収益	194,643	91,140
事業費用		
研究開発費	172,475	215,616
販売費及び一般管理費	235,018	272,272
事業費用合計	407,494	487,888
営業損失(△)	△212,851	△396,748
営業外収益		
受取利息	1,013	5,729
助成金収入	110	-
講義料	338	271
その他	3	119
営業外収益合計	1,465	6,120
営業外費用		
上場関連費用	12,820	-
株式交付費	9,351	-
その他	5	-
営業外費用合計	22,176	-
経常損失(△)	△233,562	△390,628
特別損失		
減損損失	-	31,318
特別損失合計	-	31,318
税引前当期純損失(△)	△233,562	△421,946
法人税、住民税及び事業税	2,879	3,725
法人税等合計	2,879	3,725
当期純損失(△)	△236,442	△425,671

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	90,000	1,364,999	87,591	1,452,590
当期変動額				
新株の発行	435,175	435,175		435,175
減資	△448,000		448,000	448,000
当期純損失(△)				
当期変動額合計	△12,824	435,175	448,000	883,175
当期末残高	77,175	1,800,174	535,591	2,335,766

	株主資本			純資産合計			
	利益剰余金		株主資本合計				
	その他利益剰余金	利益剰余金合計					
	繰越利益剰余金						
当期首残高	33,048	33,048	1,575,639	1,575,639			
当期変動額							
新株の発行			870,351	870,351			
減資			-	-			
当期純損失(△)	△236,442	△236,442	△236,442	△236,442			
当期変動額合計	△236,442	△236,442	633,909	633,909			
当期末残高	△203,393	△203,393	2,209,548	2,209,548			

当事業年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位:千円)

資本金	株主資本			
	資本剰余金			
	資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	
当期首残高	77,175	1,800,174	535,591	2,335,766
当期変動額				
減資	△67,175		67,175	67,175
当期純損失(△)				
当期変動額合計	△67,175		67,175	67,175
当期末残高	10,000	1,800,174	602,767	2,402,941

その他利益剰余金	株主資本		株主資本合計	純資産合計		
	利益剰余金					
	その他利益剰余金	利益剰余金合計				
	繰越利益剰余金					
当期首残高	△203,393	△203,393	2,209,548	2,209,548		
当期変動額						
減資			-	-		
当期純損失(△)	△425,671	△425,671	△425,671	△425,671		
当期変動額合計	△425,671	△425,671	△425,671	△425,671		
当期末残高	△629,065	△629,065	1,783,876	1,783,876		

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純損失（△）	△233,562	△421,946
減価償却費	15,562	15,901
減損損失	-	31,318
受取利息	△1,013	△5,729
助成金収入	△110	-
上場関連費用	12,820	-
株式交付費	9,351	-
売上債権の増減額（△は増加）	38,050	12,197
前渡金の増減額（△は増加）	△1,352	△373
未収消費税の増減額（△は増加）	△16,863	4,910
未払金の増減額（△は減少）	9,200	5,533
前受金の増減額（△は減少）	△26,143	55,000
その他	△21,197	1,933
小計	△215,258	△301,254
利息の受取額	194	5,714
法人税等の支払額	△2,879	△3,725
営業活動によるキャッシュ・フロー	△217,944	△299,265
投資活動によるキャッシュ・フロー		
助成金の受取額	110	-
定期預金の預入による支出	△2,000,000	△1,500,000
定期預金の払戻による収入	-	2,000,000
有形固定資産の取得による支出	△5,702	△25,663
無形固定資産の取得による支出	-	△5,579
その他	△396	△17,637
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,005,988	451,119
財務活動によるキャッシュ・フロー		
上場関連費用の支出	△12,820	-
株式の発行による収入	860,999	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	848,179	-
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,375,752	151,854
現金及び現金同等物の期首残高	1,549,111	173,358
現金及び現金同等物の期末残高	173,358	325,213

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、創薬プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

	前事業年度 (自2024年1月1日 至2024年12月31日)	当事業年度 (自2025年1月1日 至2025年12月31日)
1 株当たり純資産額	340円61銭	274円99銭
1 株当たり当期純損失(△)	△37円11銭	△65円62銭

(注) 1. 潜在株式 1 株当たり当期純損失については、潜在株式は存在するものの、1 株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1 株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自2024年1月1日 至2024年12月31日)	当事業年度 (自2025年1月1日 至2025年12月31日)
1 株当たり当期純損失		
当期純損失(△)(千円)	△236,442	△425,671
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失(△)(千円)	△236,442	△425,671
普通株式の期中平均株式数(株)	6,371,138	6,487,114

(重要な後発事象)

該当事項はありません。